

金曜日の会 報告

- 1 期 日 11月6日 19:00~21:00
- 2 場 所 倉敷労働会館
- 3 参加者 O、A R, A K
- 4 内 容

教材解釈「大造じいさんとガン」

短い範囲でも、以前の教科書とはかなり表現が変えられていました。どちらが、原文に近いのかは分かりませんが。

「大造じいさんとガン」は、最後の場面の解釈をしました。大きな変化である「晴々とした顔つき」。そのきっかけとなる「呼びかけ」。しかし、聞こえるはずのない呼びかけで晴れ晴れ（わだかまりがなくなった状態）となるのはおかしい。それでも晴々とした原因は「 」の中にある。仮説としては、「 」のなかには4文（今年度からのもの）ある。3文目の始めにある「なあ、おい、」が何かのきっかけになっている。それ以前がわだかまりで、それ以降がわだかまりがなくなるきっかけ。それを、今後検証していこうと思います。A R

授業の入り口と通過点を考え、そのあとの繋がりも考えました。

あとは、問題と問題のつながりを考えたり、「あの小さな頭の中」の「あの」が残雪だとどうもおかしいとなるところを探したりするのを一人でやってみます。

解釈の通りに、子どもから意見を引き出しながら進めるために大切なステップだと思いました。A K